



「第74回校庭大運動会」

県内の中学校で3校のみという伝統行事です。コロナ禍、2年続けての縮小開催。その中、全校で考えた玉入れや生徒会企画、各学年の表現種目を実施しました。写真は運動会クライマックス、3年生の行進の様子です。(相森中学校)

令和3年度「自主的校内研修補助事業」補助金額の報告…2・3

掲示板…3

世界の学校73 「『台湾』で生きる」 中山南斗 (高雄日本人学校) …4

第25回「教育研究論文・教育実践賞」募集のお知らせ…5

リレー通信 わたし自慢²⁷ 「目指すもの」 小林南実 (大豆島小学校) …5

100年館の絵 上兼恵理 (菅野小学校) …6 会員ひろば 小林直樹 (木曾町中学校) …6

12月の研修ガイド

4日(土) ●哲学講演会 ◎上伊那教育会館大会議室 ◇秋富克哉 (京都工芸繊維大学 大学院教授)
☆上伊那教育会 0265-72-3416

12日(日) ●諏訪湖水鳥観察会 ◎岡谷市横河川河口周辺 ◇水鳥・冬鳥の観察 ☆諏訪教育会
0266-52-0213

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等 (講師名敬称略) ☆連絡先

令和3年度

「自主的校内研修補助事業」補助金額の報告

会員の職能向上のために学校独自に行う校内研修を支援する「自主的校内研修補助事業」について、7月末に募集を締め切り、下記のとおり補助金額が決定しましたのでご報告いたします。

多くの学校よりご応募をいただきました。有効にご活用ください。

自主的校内研修補助事業

No.	学校名	①研修内容 ②講師(敬称略)	補助金額
1	鼎中	①主体的・協同的に課題解決に取り組む授業づくりのあり方 ②杉江修治	26,000
2	塩尻西小	①総合的な学習の時間、生活科における子ども主体の学習のあり方 ②村松浩幸	20,000
3	伊那北小	①個別最適な学びについての ICT 活用研修や授業参観による研修	21,000
4	大町南小	①学び合いの視点で研究グループごとの授業公開・参観・研究会による研修 ②村瀬公胤	22,000
5	南宮中	①信州型 UD にかかわる視点を養うための授業研修会 ②甘利秀也	20,000
6	櫻ヶ岡中	①インクルーシブ教育・LGBT・性的少数者について学ぶ研修 ②月岡美登利	22,000
7	原小	①教材研究、児童理解、評価のあり方についての研修 ②須須正裕	22,000
8	丸子中	①CAP プログラムのワークショップによる人権教育研修 ②CAP ながの職員	19,000
9	仁科台中	①授業力向上・授業改善のための授業クリニック ②村瀬公胤	18,000
10	東中(須坂市)	① Google Workspace 等の活用など ICT 研修 ②富士電機 IT ソリューション、シャープマーケティングジャパンの方	27,000
11	松尾小	①情報モラルについて、ICT 機器を使用した授業における著作権についての研修 ②南澤信之	24,000
12	八坂小	①協働的な学び合いの授業づくりのための「真正の学び研修」と ICT 研修 ②村瀬公胤	22,000
13	長谷小	①iPad の有効な活用方法、ICT 活用とオンライン授業のための研修	16,000
14	飯田養護	①障がいの重度な児童生徒のアセスメントを実施した後の PDCA サイクルの構築 ②佐野将大	16,000
15	木島平中	①協働的な学びをめざしての自主公開授業を行う授業研修 ②小国喜弘	22,000
16	新野小	①複式学級における課題解決型の授業づくりのあり方研修 ②伏木久始	24,000
17	麻績小	①算数科授業研究をもとにした小中での交流型学習のあり方を研修 ②伏木久始	23,000
18	飯田東中	①ものごとを根源から問うことを学ぶ哲学講習会及び読み合わせ ②福谷茂	27,000
19	高社中	①授業を観る視点や生徒の学びのとらえ方など授業公開を通じた研修 ②村瀬公胤	24,000
20	菅平小	①新学習指導要領をもとに全学級の授業参観による小中合同研修会 ②村瀬公胤	20,000
21	菅平中	①これからの社会と関連した学びについて全学級の授業参観による小中合同研修会 ②村瀬公胤	17,000
22	赤穂東小	①「子どもが主人公」の授業づくりの実践力を授業参観や講演をもとに身に付ける研修 ②田中光顕	23,000
23	第三中(上田市)	①ICT を活用した生徒主体の授業をめざした ICT と UD の研修 ②佐藤和紀、久保田茂樹	25,000
24	軽井沢東部小	①生活・総合的な学習の時間を核にしたカリキュラムマネジメント研修 ②伏木久始	27,000
25	東小(千曲市)	①ipad やクロムブックを活用した協働的な学びの研修 ②信州大学	26,000
26	平野小	①音読・朗読など音読指導の指導力向上研修 ②今井理恵子	24,000
27	座光寺小	①「協働的な学習」研修会 ②畔上一康/①情報リテラシーを学ぶ ②小木曾健	24,000
28	箕輪中部小	①学級集団づくりやこの支援のための Q-U 研修 ②加藤敬一	25,000
29	城南中	①人権同和問題に対する理解を深め、授業構想や実践に生かす研修 ②小橋久男、高橋典道	26,000
30	中野小	①学び合う授業を目指した授業公開やカンファレンスをもとにした研修 ②小国喜弘	26,000
31	山ノ内中	①ESD の視点を取り入れた教科・総合的な学習の時間における学習活動のあり方 ②加藤隆弘	20,000
32	泉小	①図工の授業における評価と指導をもとに主体的・対話的に学ぶ授業研修 ②猪瀬昌延	25,000
33	上村小	①複式指導のための視察研修(玉滝小)および授業公開研修	23,000
34	山形小	①ふるさと学習で探究的な学びをつなげるための地域研修 ②村教育委員ほか	23,000
35	阿南第一中	①生徒の「問い」を引き出す授業づくりをめざして授業研究会を通しての研修 ②桐生徹	26,000
36	大町西小	①「協働の学び」の実践について授業公開・参観し指導をうける研修 ②武村俊志	23,000
37	岡谷田中小	①全職員の授業公開、全校での授業研究会による授業力向上研修 ②志水廣	25,000
38	中野平中	①日常の授業改善を充実し、全学級の授業公開と中心授業参観による授業研修 ②佐藤学	22,000
39	祐津小	①講師による全学級授業参観で質の高い授業を目指した授業力向上研修 ②藤森裕治	27,000
40	東春近小	①プログラミング教育の意義や目的、プログラミングの思考育成のための方法 ②桐生徹	22,000
41	穂高東中	①教科の特性に応じた Chromebook の活用方法や、ICT を使った協働的な活動のあり方などの研修 ②佐藤和紀	24,000
42	坂城中	① Chromebook を使った 4 人グループの学び合いの授業づくり研修 ②佐藤和紀、県教委指導主事 4 人	23,000
43	三岳小	①三岳地区の豊かな自然や文化、地域の学校への思いなど地域から学ぶ非違行為防止研修 ②地域の方々	26,000
44	高遠小	①読み書き、教科担任制、ICT 活用教育、子ども理解・学級づくりに係る研修 ②竹田正樹ほか	26,000
45	豊科北中	①学習システム(授業を見合う)、研修システム(学び合いの授業公開)、学校システムの改善 ②村瀬公胤	25,000
46	長谷中	① ICT 機器を道具として利用し、生徒の思考力・判断力・表現力を伸ばすための機器利用スキル向上研修	19,000
47	西春近北小	① QU の基本的な見方や活用の仕方についての講演と演習 ②加藤敬一	19,000
48	春富中	①協働的な学びの理論を学び、授業研究を通して「学ばせる授業」への転換を図る研修 ②佐藤学	26,000
49	小川小	①表現力・伝え合う力の育成をはかるための音読・朗読・スキルアップ講座 ②今井理恵子	25,000
50	辰野東小	①日本の教育情勢を取り巻く課題や今後の方向性、これからの学びの進め方 ②桐生徹	25,000
51	和田小(飯田市)	①思いをのびのびと表現できるようにするための絵画指導のあり方 ②丸山陸雄	25,000
52	旭ヶ丘中	①改訂版「あけほの」の読み合わせと人権学習の指導のための研修	24,000

53	竜東中	①模擬授業を通して、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力等について理解を深める ②桐生徹	24,000
54	泰阜中	①村内の子どもが関わる施設見学、村内の特産品の加工体験など、地域について学ぶカウンセリング的面接技法研修含む	24,000
55	本原小	①新しいスポーツに触れ、ルールや練習方法などについて教材研究し授業づくりに生かす	25,000
56	日野小(中野市)	①どの子にも居場所があり、主役となれる授業づくりの研修 ②村瀬公胤	27,000
57	高陵中	①タッチタイピング実技講習とワード操作技能講習ほか ②中島直美	21,000
58	松川中央小	①吃音についての理解を深め、かかわりの具体を学ぶ ②内藤麻子	22,000
59	川上第二小	①学級経営の充実のためQ-U検査の演習と分析をおしそのあり方を考える研修	26,000
60	飯山養護	①児童生徒の実態や力を客観的にとらえ支援に生かすため、様々なアセスメントの研修	18,000
61	松本養護	①個別の指導計画や教材づくりほか、特別支援教育に関わる基礎的・専門的知識を高める研修	12,000
62	八坂中	①思考力の形成過程に視点を当て、授業を通して協働的な学びが定着する研修 ②村瀬公胤	27,000
63	高遠中	①主体的・対話的で深い学びとなる授業改善に向け、公開授業と授業研究会を通じた教科指導研修	25,000
64	東小(小諸市)	①学び合いの授業をめざした学力向上研究部会の公開授業研修 ②村瀬公胤	25,000
65	梓川小	①教育について考える機会として、講師が大切にしてきた教育理念などの話を聞き懇談する研修	25,000
66	丸子北小	①主体的・対話的で深い学びを目指し、学びあい学習について授業研究会を通じた研修 ②村瀬公胤	22,000
67	高甫小	①児童の姿勢、体調管理に生かすためのヨガの実技研修 ②山口有佐	23,000
68	野沢小	①「どの子にも居場所のある学校 どの子にも学びの保障される授業」を目指して授業公開等の研修 ②村瀬公胤	27,000
69	中沢小	①子どもたちが歌うことの楽しさを味わうため教員の指導技能や発声の基礎ほかを高める研修 ②富澤裕	26,000
70	南牧中	①ICT機器を活用しながら子どもの自主性を育成する指導についての研修 ②村松浩幸	27,000
71	延徳小	①個人研究テーマを設定し、公開授業や授業映像を振り返り、講師に個別支援をしてもらおう研修 ②村瀬公胤	25,000
72	伊那東小	①「性的マイノリティ」に対する正しい理解・指導についての研修 ②サノチカ	22,000
73	若穂中	①一人一台導入におけるネットリテラシー、ガイドライン作成と授業改善のための研修 ②南澤信之	25,000
74	上諏訪小	①開校に際し、心を耕し、困難を乗り越え、伝え合う力を伸ばす授業力に関わる研修 ②奈須正裕、村松浩幸	27,000
75	山本小	①授業力向上と学び合いが生まれる学級づくりのための研修 ②平野朝久、佐藤洋一	26,000
76	鼎小	①児童の主体的な学びの充実のため自由進度学習についての研修	25,000
77	千栄小	①地域教材の掘り起こし、職員運動の研修 ②地域の方	26,000
78	三陽中	①保護者対応やクレーム対応に関する研修 ②民間のクレーム対応担当者	26,000
79	芋井小	①ICTを活用した教育活動を実行するためのプログラミング学習の体験研修	25,000
80	丸山小	①地域巡りをおこない、地域に寄せる人々の思いに触れ郷土を見つめなおす研修 ②南信州観光公社より	24,000
81	伊那西小	①学校林を活用した自然教育を進めるための研修 ②野口輝雄、岡村裕、中村寛志ほか	18,000
82	稲荷山養護	①自閉障学級生徒の事例検討と課題及び支援方法についての研修会 ②両川晃子	16,000
83	伊那中	①「子どもたちはどう学ぶか」をテーマに、学びの環境、授業の改善、評価の改善についての研修	24,000
84	望月小	①学び合いの授業をめざし、日常的な授業をもとにした研修 ②中島一彦	22,000
85	富県小	①富県地区の歴史、文化について学ぶ地域研修 ②塚田博之	20,000
86	豊田小(中野市)	①授業参観とリフレクションをもとにした講演で学び合いについての研修 ②村瀬公胤	26,000
87	箕輪西小	①ICT研修、地域を知る研修、授業力向上のための研修 ②柴登巳夫ほか	21,000
合計補助金額			2,025,000

掲 示 板

・会員アンケートにご協力
いただきありがとうございました。
皆さまからいただいたご意見を大切に
し、事業の改善・改革に
努めてまいります。



「台湾」で生きる



高雄日本人学校 中山 南斗

【現地校の中にある学校】

本校は世界で唯一の「現地校の中にある日本人学校」です。

中正國小（中正）という現地校の一棟を間借りして生活しています。中正は3000人を超す大規模校。対して本校は約90名、単級9学級の小規模校です。二つの学校がお互いに尊重し合いながら生活しています。

朝、中正と本校の子どもたちが同じ時間に登校してきます。正門に立つと、「おはよう」の声と、中国語の「早（ザオ）」の声が入り交じります。トコトコと歩み寄ってきた中正の子どもが「おはようございます」と丁寧にお辞儀をします。「中山老師（ラオスー）～！」研修の一環で教えた日本語クラスの子もたちが、名前を呼んでくれました。中正の先生も手を振りながら「おはよう～！」と声をかけてくれます。あいさつは国境を越えるのだと改めて感じます。

【新型コロナウイルスの影響で】

「世界一安全」な場所と称された台湾でも、今年度5月中感染が発見されました。本校でも5月19日から臨時休業が二ヶ月間続くことになりました。幸いにも昨年度のうち一人一台の情報端末の購入が済んでいました。日本語に対応した専門業者がいなかったため、セキュリティやオンライン授業用のソフトウェアなどの設定は、教職員が休日返上で行って、5月初旬に作業を終えたばかり。まさに「ぎりぎりセーフ」のタイミングでした。

休校の翌日から双方向型のオンライン授業が始まりました。「学びを止めない」が合い言葉ですが、つついよりよい学習ができないかと思うのが教師の性。オンライン会議の機能を用いた少人数の話し合い活動、子どもたちだけでなく家族のストレス解消も大切と、小さな兄弟や保護者を巻きこんだ家族体操。いわゆる「5教科」だけでなく、図工・美術や音楽、中国語の授業も子どもたちの楽しみの場となりました。

縦割り活動もできないかと思案していただき、小学部1年生と6年生のゲーム会が企画され、「連想ゲーム」「しりとり」で盛り上がりました。転出する生徒のために、オンラインお別れ会を子どもたちが企画しました。

確かにできないこともあります、「できる」ことを増やしてきました。

8月25日、新規感染者が「0」となりました。「+0」の発音である「加零（ジャーリン）」が台湾女性の名前の発音に似ているとして「加零回来（ジャーリンさんが帰ってきた!）」と台湾が歡喜しました。子どもたちの登校も許され、学校に子どもたちの笑顔が戻ってきました。



中正國小の入学式の朝

台湾は9月が年度初め。入学を祝う門には日本語が使われています。



通り沿いの果物屋には季節の南国フルーツが並びます。



オンライン授業の様子

書画カメラで手元のノートを映しながら双方向型の授業を進めていきました。



オンライン体育の様子

画面越しですが汗かくで活動をしています。

第25回「教育研究論文・教育実践賞」募集のお知らせ

日々の実践を
応募して
みませんか

作品内容	1 目標達成や課題解決のための自主的、継続的な研究や実践をまとめたもの 2 指導や支援による子どもの変容や成長をまとめたもの 3 会員にとって学びがあり研究や実践の参考になるもの	
募集内容	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 学習指導 ▪ 生徒指導 ▪ 教材・教具の開発 ▪ 心の教育 ▪ 特別支援教育 ▪ その他教育全般 特別テーマ「学校づくり」(今年度より新たに募集の枠をつくりました!) ▪ 学校マネジメント ▪ 教育改革 ▪ 校種間 ▪ 地域連携 ▪ 学校事務 ▪ その他 	
部門	個人の部 / グループの部(2名以上)	
応募資格	信濃教育会会員であること	
表彰	特選: 賞金10万円・楯・賞状 入選: 賞金3万円・賞状 奨励賞: 図書カード(2千円分)	準特選: 賞金8万円・楯・賞状 佳作: 賞金1万円
提出先/ 締切り	小・中・特別支援学校 → 各教育会事務局 高校・大学 → 信濃教育会	令和4年1月7日(金) 必着 令和4年1月14日(金) 必着
問い合わせ	信濃教育会「教育研究論文・教育実践賞」係 TEL 026-235-1608	

詳細は信濃教育会ホームページをご覧ください。



わたし自慢 ②7

目指すもの



大豆島小学校 小林 南実

「お先に失礼します!」と、少し後ろめたさを感じながら職場を後にし、足早にある場所に向かう。長野市営陸上競技場。私が小学生の頃からお世話になっている所だ。私は長野県の社会人チームに所属し、陸上競技の走幅跳専門で競技をしている。走幅跳は、速く走って、遠くに跳ぶ競技である。競技で結果を出すためには、速く走れるようになり、そのスピードを生かした踏み切りを習得しなければならない。学生最後の年、全国大会をかけた大会で、私は大怪我をした。全国



へのきっぷを逃し、悲しみの淵に追いやられた。しか

し、私は諦められなかった。「全国大会に出場したい」という思いは絶えず、その気持ちをもったまま社会人になった。社会人になる際、憧れていたチームに自ら申し出て、加入させてもらった。学生時代に全国大会を経験した方がほとんどで、私の記録など足元にも及ばない。しかし、どうしてもそのチームに身を置いて陸上競技を続けたかった。そして、教員1年目。右も左も分からない初任者という立場のなか、たくさんの方々に支えられ、全日本実業団対抗選手権大会に出場を果たした。しかし、結果は「ノーマーク」。記録を残すことなく、初の全国大会は幕を閉じた。現在、教員3年目。もう一度全国大会出場を果たすべく、練習に励んでいる。今後の目標は、「全国大会入賞」と、この場をお借りして宣言する。陸上競技は冬季練習が命。寒い冬に打ち克ち、来春の試合を見据える。

予告



「マ共に学び合うインクルーシブな教育を求めて」

100年館の絵

令和2年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵

指導者
上兼 恵理 (菅野小学校)

「将来は漫画家になりたい」という夢を持っている心乃実さん。普段から人物画などを描いてはよく見せてくれます。その絵は、心乃実さんの観察眼の鋭さが光るものばかりでいつも感心させられます。

三年生になり、初めてリコーダーを手にした時、とても新鮮な喜びを感じていた子どもたち。心乃実さんは上達したい気持ちが一層強く、家でもコツコツ練習を重ねていました。この絵には、そんな心乃実さんの努力やリコーダーを吹く楽しさがよく表れていると思います。



「リコーダーをふくわたし」
上妻心乃実 (菅野小3年)

信濃教育博物館所蔵

会 員 ひ ろ ば

「別れと向き合う」

この写真は8月に登った御嶽山の山頂からの景色である。登山をするのは中学生以来。アウトドア派ではない私が御嶽山に登ったのには、理由がある。



昨年の夏、大切な人との別れがあった。今でも毎日のようにその人のことを思い出す。かと言って、私には何もすることができない。

少しでもその人の近くに行き、自分の感情と向き合いたい、そんなことを考えて、御嶽山に登った。登っている途中は山頂には雲がかかっていたが、山頂に近づくにつれ、雲は晴れていった。山頂から壮大な景色を眺めることができた。気持ち良い風が吹いていた。

登山したからといって、心に大きな変化はなかった。でも山頂からの景色は私にこう思わせた。「一生懸命生きよう。生きて、今、私にできることを精一杯やろう」
(木曾町中学校 小林直樹)

教職員川柳

- コロナ禍で テレビ録画観る 屋の給食 (青クリン)
- また駄洒落 よく飽きないねと クラスの子 (鯖の味噌煮)
- オンライン 何でも学べる オレイラン (三世)
- 不眠症 なぜかぐっすり ○○会 (ぐうたら)
- タブレット 操作に夢中で はなせない (多毛生地)

ご応募お待ちしております。

投稿はメールでお願いいたします。kaihou@shinkyō.or.jp

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。

